

「貸借対照表について」

貸借対照表 (バランスシート・B/S)

資産	負債
	純資産

上記の図が一般的な貸借対照表です。

「資産」「負債」「純資産」の3つから成り立っています。

貸借対照表といえば簡単に言いますと、**会社のその時点の状態**を表しています。状態を表すのですから、**人の体で言うと健康診断での良し悪しを表している**のと同じだと思っていただいいてよいと思います。

それでは、一体どういう状態が良いでしょうか。

「資産」というと現金や在庫そして土地などがイメージできます。誰もが資産を多く持っていて借金が少なければ、状態が良いと思うはずですが、実際その通りですね。

これが貸借対照表で見るということになるとどうでしょうか。それが良い状態なのか悪い状態なのかがわからなくなってしまうという方がいらっしゃいます。

貸借対照表の良い状態とは健康状態が良い状態。

ですから、今まで貸借対照表が苦手だなと思われる方も、簡単に考えてみてください。貸借対照表から会社を良くしていくための方法が見つけれられるのですから。

ここで1つ質問です。

「資産が多くて借金が少ない状態が良い。」

これは決して間違いではありません。

では**資産が多く一度も使用していないものがあったら**どうでしょう。

最近耳にするメタボリックを想像してみてください。

メタボリックが多いということは無駄な贅肉が多いということ。

この贅肉を落とすと体はスリムになります。

スリムになるということは健康な状態ですから、

これが会社にも共通するのです。

資産が多いだけでも駄目なのですから、

その状態も貸借対照表の数字を使えば判明するのですね。

多くの会社では銀行や他人からの「借金」があると思います。

これは始めから会社のお金ではないのでこちらは「他人資本」ともいわれ、

これが「負債」となります。

また、会社を始める時に、株主より「資本金」が投入されています。

これは初めから会社のお金となるので「自己資本」ともいわれ、

これが「純資産」となります。

それではこの二つの違いは何か。

まず、「借金」というと**必ず返済しなければなりません。**

そして「資本金」の方は**返済する必要がありません。**

ですから、先程の上図の右側の「負債」と「純資産」といわれる部分の違いが、

この性格の違いということなのです。

返済しなければならない金額と返済しなくても良い金額のどちらが多ければよいかといえ

ば、それは**返済しなくても良い金額が多ければ良い**ですよね。

これがよく耳にする**自己資本比率**などにかかわってくるのですね。

ちなみに、**純資産には会社が出している利益も蓄えられています。**

逆に、利益がマイナスの場合は蓄えからどんどん減っていきます。

利益がどんどん蓄えられるということはどういうことでしょう。
それは人間で言うと体力がどんどんついていくという状態なのです。

この体力があるということは、利益が出ているということですから、
結果的には、

「お金を増やす（体力を高める）には、儲け（利益）を出す」
という会社経営の基礎となるわけです。

この状態にするためにはどうしたらよいかのヒントが隠れているのが
「貸借対照表」でもあるのです。